



Technical Information

技 術 資 料

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

オルガチックス**AC**剤シリーズ

エクストルージョンラミネート用コーティング剤

 **マツモトファインケミカル株式会社**

〒272-0023 千葉県市川市南八幡 5-13-2

TEL 047-393-6330 (ダイヤルイン)

FAX 047-393-1063

〒541-0048 大阪営業所／大阪市中央区瓦町 3-4-15 瓦町 SF ビル 6F

TEL 06-7654-6862 (ダイヤルイン)

FAX 06-7655-2087

 Matsumoto Fine Chemical Co.,Ltd.

URL:<http://www.m-chem.co.jp/>

高機能AC剤「オルガチックス」

オルガチックス AC 剤シリーズは、エクストルージョンラミネートフィルムの接着促進剤として、当社が開発した製品です。

オルガチックス AC 剤シリーズは、アルキルチタネートを主体としたチタネート系（溶剤系）と、チタン変成のポリエチレンイミンを主体とした水系がございます。

オルガチックスを使用したラミネートフィルムは、従来の接着促進剤を用いたものと比較し、密着性、シール強度、耐湿性、ガス透過性などが改善されます。

1. チタネート系AC剤

アルキルチタネートを主成分としたAC剤です。1液タイプであり、初期強度が高く、臭気の問題が少ない製品です。但し、冬場などで温度が低くなりますと、浮遊物が発生する事がございます。

（50℃程度の湯浴にて、少し暖めて頂ければ浮遊物は溶解します）

1-1. 商品リスト及び物性表

商品名	外観	成分濃度(%)	Ti (%)	希釈溶剤
オルガチックス TA-40	無色透明 液体	95	13.70	トルエン、n-ヘキサン、 酢酸エチル等

1-2. 強度

商品名	フィルム						
	PT	OPP	PET	NY	Al	MST セロファン	KOP
オルガチックスTA-40	200	210	200	200	200	180※	170※

※防湿コート膜 PE 側に移行

測定	: 剥離強度	g/15mm
ラミネート条件	: PE 厚さ	30 ミクロン
	: PE 温度	310℃
	: ラミネート速度	90m/min
	: AC 剤希釈倍率	25 倍 (溶剤 PDC)

上記の数値は、当社でのテスト結果になります。加工条件、フィルム構成等により差異が生じますので、ご了承下さい。

1-3. 調整方法

「オルガチックス TA-40」は、以下の希釈倍率でご使用下さい。

オルガチックス TA-40		1 部
溶	剤	24 部
総	量	25 部※

(※体積にて調液して下さい)

希釈可能溶媒

○炭化水素系 (n-ヘキサンなど)

○エステル系 (酢エチなど)

○芳香族系 (トルエン、キシレンなど)

※ケトン系の溶剤は、希釈液が着色することがありますので、ご使用は避けて下さい。

1-4. ラミネート時の注意事項

AC 剤の効果を十分に発揮させるためには、極めて薄く均一な酸化チタンの皮膜を、フィルムの表面に形成させる必要があります。そのため、以下の点にご注意下さい。

「コーティング時の注意」

- 1) ロールコート (ミラーロール・グラビアロール等)、バーコート、滴下ロールコートが適用できます。
- 2) ロールは耐溶剤性の良いゴムロールを使用して下さい。
- 3) ロールコート中に、液が白濁した場合は、新しい AC 液と交換して下さい。

「乾燥時の注意」

- 1) 乾燥は十分に行って下さい。熱風 (80℃程度) での乾燥は、風量に大きく左右されます。ラミネート速度が速い場合は風量を高めて下さい。未乾燥のままラミネートが行われると接着不良、臭気の原因となります。

「ラミネート機械操作時の注意」

- 1) 冷却ロール、圧着ロールの表面は十分クリーニングして下さい。汚れますとポリエチレンの透明性が悪くなり、また接着むらを起こす事があります。
- 2) ポリエチレンの押出し温度は、310~315℃ (ダイスの出口部分) 程度にて行って下さい。ポリエチレンの温度が高いと表面酸化が促進され接着強度が高まりますが、その分ポリエチレンも劣化し経時変化を起こす原因となります。
エアギャップとポリエチレンの押出し温度との関係を十分把握して下さい。

2. 水性樹脂系 AC 剤

ポリエチレンイミンを、当社の水溶性チタン化合物で変成した 1 液水系 AC 剤です。水系での使用が可能です。無地面、インキ面の接着強度が高く、臭気もございません。従来品と比較し、ラミ強度の向上が期待出来ます。

2-1. 商品リスト及び物性表

商品名	外観	成分濃度 (%)	粘度 (30°C)	希釈溶剤
オルガチックス WS-700	微白色液体	9	20mPa・s	水 メタノール

2-2. 強度

商品名	フィルム						
	PT	OPP	PET	NY	Al	MST セロファン	KOP
オルガチックス WS-700	220	240	230	220	150※	60	80

※Al 表面が水により酸化され少し曇る。

測定	: 剥離強度	g/15mm
ラミネート条件	: PE 厚さ	30 ミクロン
	: PE 温度	310°C
	: ラミネート速度	90m/min
	: AC 剤希釈倍率	30 倍
	(希釈 水:メタノール=1:4)	

この数値は当社でのテスト結果になります。加工条件、フィルム構成等により差異が生じますので、ご了承下さい。また、Al 箔、蒸着 Al フィルムなどを水系 AC 剤でラミネートしますと、条件によっては表面が腐食され外観を損なう事がありますので、ご注意下さい。

2-3. 調整方法

オルガチックス WS-700 は、水-アルコール溶液で希釈する AC 剤です。

オルガチックス WS-700	1 部
水	6 部
メタノール	24 部

総 量 31 部※
※体積にて調液して下さい。

2-4. 注意事項

「AC 剤調整時の注意」

希釈溶剤の水とアルコールの比率は任意に調整可能です。但し、アルコール分が 80%を超える場合は、塗布フィルム上のインキの溶出に注意して下さい。また水が 20%以上の場合は、乾燥条件に注意して下さい。

「コーティング時の注意」

- 1) コーターロールとしては、耐水性のあるブチレンラバーロール、EPT（エチレンプロピレンラバー）ロール、ネオプレンロール等をお使い下さい。
- 2) 使用残となった AC 液は再度使用できますが、液汚れがひどい場合は新しい液と交換して下さい。
- 3) オフラインでの使用は、ブロッキングの可能性がございますので避けて下さい。

「乾燥時の注意」

乾燥は十分に行って下さい。未乾燥のままラミネートを行うと、接着不良、臭気などの原因となります。

「その他の注意」

オルガチックスWS-700は、銅及び黄銅等の銅を含む合金と反応し、青緑色の錯塩を形成するため、接触を避けて下さい。

上記は基本的な注意事項ではありますが、ご使用前には必ず SDS をご参照下さい。

最後に、本資料に記載された内容は、現時点で入手できたデータに基づく情報提供を目的としたものであり、いかなる記載内容も保証するものではありません。

問い合わせ先 マツモトファインケミカル株式会社

営業部 千葉県市川市南八幡 5-13-2

Tel 047-393-6330

Fax 047-393-1063

大阪営業所 大阪府中央区瓦町 3-4-15

瓦町 SFビル 6F

Tel 06-7654-6862

Fax 06-7655-2087

URL : <http://www.m-chem.co.jp>

Revised date: Dec 11th, 2019